

がん研究の先駆者吉田富三博士の偉業を記念するとともに、未来を担う青少年の科学教育の進展を期待し、福島県小学校教育研究会理科部会の協力を得て、平成6年度より、『吉田富三 子ども科学賞』を実施しています。

『吉田富三 子ども科学賞』は、今年で8回目になります。授賞式は平成13年11月23日（金）午前11時より、吉田富三記念館で行われました。

第8回 吉田富三 子ども科学賞授賞式
財団法人浅川町吉田富三顕彰会



『吉田富三 子ども科学賞』 受賞者

佐藤 光	富岡町立富岡第二小学校1年	あさがおのひみつさがし
山口 良友	本宮町立本宮小学校2年	あさがおのつるしらべ No.2
渡邊 愛梨	福島大学教育学部附属小学校3年	かいこの研究
小荒井 一真	小野町立小野新町小学校4年	せみのぬげがらの白い糸を見ることがありますか
佐藤 健成	鹿島町立上真野小学校5年	モリアオガエル 大ピンチ！一命と水を考えるーえっ！レモンが電池になるの？
小西 麗奈	国見町立藤田小学校6年	

『吉田富三 子ども科学賞・特別賞』（石川地区）受賞者

酒井 甲之亮	石川町立中谷第一小学校1年	あまがえるのひみつ
根本 恵理子	石川町立石川小学校2年	じしゃくのひみつ
諸岡 茉由子	石川町立石川小学校3年	ありの行列のかんざつ
伊藤 悠一郎	石川町立石川小学校4年	ひまわりはどこがのびる？
吉田 佳織	石川町立中谷第一小学校5年	トマトジュースはよごれを落とすか？
西牧 元彬	石川町立石川小学校6年	水玉はなぜできるのか



現代の科学の発展は人類の宇宙飛行を可能にするとともに、その生活の万端においても急激な生活様式の変革をもたらしているが、この現象は益々拡大される傾向にある。まさに変革の時代であり、二十一世紀の課題でもあります。このときに当たり、財団法人浅川町吉田富三顕彰会では、科学教育の重要性を認識し、福島県小学校教育研究会理科部会の協力の下に、「吉田富三子ども科学賞」を制定しました。

この賞は、文化勲章の受賞者でがん研究の先駆者として世界的に有名な吉田富三博士の偉業を記念するとともに、未来を担う青少年の科学教育の振興に寄与するために制定されたものであります。「吉田富三子ども科学賞」がいざさかでも未来を担う青少年の科学教育の進展に寄与できれば幸甚であります。

1. 受賞者／福島県小学校教育研究会理学部会から推薦を受けた者（各学年一名とする。）
2. 賞／賞状と記念品
3. 授賞式は吉田富三記念館で行う。
4. 受賞者の所属校名と氏名を吉田富三記念館に掲示する。